

5 畜 産

項 目	作 業 内 容
( 1 )飼料作物の刈り取り	<p>(今月の作業のポイント)</p> <p>飼料作物の刈り取り 暑熱対策 台風対策</p> <p>飼料作物の収穫時期に当たることから、天気予報に注意しながら、次の点に留意し作業を行う必要がある。</p> <p>ア トウモロコシ 収量とサイレージ品質などから糊熟～黄熟期が刈り取り適期である。青刈り用は糊熟期、サイレージ用は硬くなり始めた糊熟末期から刈り取りを始め、黄熟期までに終わるとよい。</p> <p>イ ソルガム 青刈り・乾草利用は、穂ばらみ期から乳熟期にかけて刈り取る。サイレージ利用は、水分含有率が低下し可溶性炭水化物含有率も高くなる乳熟期から糊熟期に刈り取る。再生利用する場合は、刈り取り後10 a 当たり窒素、カリ10kgを追肥する。</p> <p>ウ スーダングラス スーダン等の乾草利用は、出穂期前後をめどに刈り取り、2～3回刈りとする。</p> <p>サイレージ調製の成否は、乳酸菌の活動を盛んにすることが重要である。切断の長さは2～4 cmとし、踏圧作業を入念に行い、サイロ内の密度を高めることで、開封後、空気が入りやすく、二次発酵が起こりにくい品質の良いサイレージができる。</p>
( 2 )家畜の暑熱対策	<p>8月は最も気温が高くなる時期であるため、先月に引き続き暑熱対策を徹底する。</p> <p>大家畜では、新鮮な水や冷水を飲ませて体温を下げるとともに、食塩や炭酸水素ナトリウム(重曹)を十分補給する。また、乳牛では細霧装置や送風を組み合わせ、体温を低下させる(写真1)。</p> <p>豚・鶏では、冷水を飲ませたり、ビタミン剤等を投与し回復を早める。</p>

項 目	作 業 内 容
<p>(3) 台風対策</p>	<div data-bbox="512 327 1350 947" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="512 954 997 992">写真1 細霧装置を設置した牛舎</p> <p data-bbox="485 1050 1382 1133">台風情報等に十分注意し、あらかじめ十分な対策を講じておく。</p> <p data-bbox="480 1144 1382 1279">施設は、畜舎や堆肥舎、サイロ等の点検を行い、暴風雨や大雨で施設が損傷し、家畜に被害が及ばないように十分注意する。特に、排水施設等の再点検を行う。</p> <p data-bbox="480 1290 1382 1373">飼料作物では、集中豪雨等の冠水で発芽障害や生育障害を引き起こす危険があるため、排水溝を設ける。</p>